



2020年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月14日

上場会社名 株式会社アイケイ
 コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 052-856-3101

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	13,864	3.3	393	43.3	394	39.6	244	41.0
2019年5月期第3四半期	13,423	0.2	274	54.9	282	53.5	173	59.4

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 247百万円 (42.5%) 2019年5月期第3四半期 173百万円 (59.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	33.03	32.88
2019年5月期第3四半期	23.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	6,955	2,662	38.2
2019年5月期	6,818	2,688	39.4

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 2,657百万円 2019年5月期 2,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		12.00	12.00
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,946	3.8	577	33.6	585	33.6	402	68.8	53.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年5月期3Q	7,808,000 株	2019年5月期	7,808,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年5月期3Q	549,100 株	2019年5月期	330,900 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年5月期3Q	7,393,124 株	2019年5月期3Q	7,477,100 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は経営環境の変化により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業が引き続き堅調に推移し、緩やかな景気回復基調が続いておりましたものの、新型コロナウイルス感染症拡大により、中国国内の経済活動の抑制影響によりサプライチェーンに滞りが生じるなどの影響が出ているほか、日本国内においても不安心理が増幅される中、エンターテインメント施設や各種イベント等の休止もあり、景気は後退局面に入っており、景気を下押しするリスクには留意が必要な状況にあります。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第3四半期連結累計期間の売上状況は、BtoC事業では、第2四半期連結累計期間とほぼ同様にTVショッピングにおいて「スピードヒート温熱ベスト」、「ステップエイト(場所に合わせて8通りに変化する脚立)」等が堅調に推移いたしました。また、SKINFOOD店舗では閉店はなく、新店として「東京ドームシティラクーア店」を開業いたしましたことから、その店舗数は直営店22店舗(前年同四半期19店舗)、フランチャイズ店2店舗(前年同四半期2店舗)の合計24店舗(前年同四半期21店舗)となりましたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による来店客数の減少などにより、前年同月実績を確保することが厳しい状況となっています。

BtoBtoC事業では、マーケティングメーカーとして確固たる基盤を築くため、自社開発商品の売上比率を2020年5月期において40%まで高めることとし、商品開発に注力してまいりました。売上面では前第3四半期連結累計期間と比較して生協ルート、店舗ルート、海外ルートは増収となったものの、通販ルートは減収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高13,864百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業利益393百万円(前年同四半期比43.3%増)、経常利益394百万円(前年同四半期比39.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益244百万円(前年同四半期比41.0%増)となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<BtoC事業>

売上高は5,167百万円(前年同四半期比10.4%増)となり、営業利益は285百万円(前年同四半期比977.9%増)となりました。

<BtoBtoC事業>

売上高は8,504百万円(前年同四半期比0.7%減)となり、営業利益は79百万円(前年同四半期比68.9%減)となりました。

<その他>

売上高は192百万円(前年同四半期比6.6%増)となり、営業損失は10百万円(前年同四半期は8百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ193百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が361百万円増加したこと、「商品及び製品」が216百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ56百万円減少しました。

主な固定資産の変動は、「無形固定資産」が52百万円増加したこと、「投資その他の資産」が111百万円減少したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は6,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ189百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「短期借入金」が300百万円増加したこと、「買掛金」が168百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ26百万円減少しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が62百万円減少したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は4,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ26百万円減少しました。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が109百万円増加したこと、「自己株式」が148百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月9日に公表いたしました2020年5月期通期の業績予想に変更はありません。なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	410,524	772,149
受取手形及び売掛金	2,766,254	2,807,444
有価証券	131,602	134,101
商品及び製品	2,044,917	1,827,944
原材料及び貯蔵品	9,743	15,302
その他	385,012	385,136
貸倒引当金	△6,683	△6,785
流動資産合計	5,741,372	5,935,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	181,641	201,289
土地	80,216	80,216
その他(純額)	102,854	85,730
有形固定資産合計	364,712	367,236
無形固定資産		
のれん	6,100	58,000
その他	115,201	115,386
無形固定資産合計	121,301	173,386
投資その他の資産		
その他	602,145	491,530
貸倒引当金	△11,155	△12,068
投資その他の資産合計	590,990	479,462
固定資産合計	1,077,004	1,020,086
資産合計	6,818,376	6,955,380
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,094,223	925,670
短期借入金	600,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	543,888	580,306
未払金	577,451	539,915
未払法人税等	103,507	96,631
賞与引当金	39,068	20,342
返品調整引当金	23,070	24,901
その他	142,023	225,349
流動負債合計	3,123,232	3,313,117
固定負債		
長期借入金	742,643	680,498
退職給付に係る負債	109,745	121,295
役員退職慰労引当金	142,700	—
その他	11,235	178,201
固定負債合計	1,006,325	979,996
負債合計	4,129,557	4,293,114

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	404,089	409,800
利益剰余金	1,917,233	2,026,346
自己株式	△36,233	△184,275
株主資本合計	2,686,838	2,653,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,980	5,621
為替換算調整勘定	—	△1,416
その他の包括利益累計額合計	1,980	4,205
新株予約権	—	3,283
非支配株主持分	—	1,156
純資産合計	2,688,819	2,662,266
負債純資産合計	6,818,376	6,955,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	13,423,754	13,864,217
売上原価	7,393,342	7,177,646
売上総利益	6,030,411	6,686,571
販売費及び一般管理費	5,755,851	6,293,212
営業利益	274,560	393,358
営業外収益		
受取利息	2,463	2,000
受取手数料	2,249	1,970
為替差益	2,864	—
その他	5,053	4,528
営業外収益合計	12,631	8,499
営業外費用		
支払利息	4,664	6,092
為替差損	—	1,474
その他	4	5
営業外費用合計	4,668	7,572
経常利益	282,523	394,286
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	711
特別利益合計	—	711
特別損失		
固定資産除却損	313	9,217
減損損失	6,611	10,689
特別損失合計	6,924	19,906
税金等調整前四半期純利益	275,598	375,091
法人税等	102,390	130,864
四半期純利益	173,208	244,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,208	244,209

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	173,208	244,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	601	3,640
為替換算調整勘定	—	△174
その他の包括利益合計	601	3,465
四半期包括利益	173,809	247,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,809	247,733
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年11月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式235,800株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が149,968千円増加しました。この自己株式取得等により、当第3四半期会計期間末において自己株式が184,275千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2019年8月22日開催の第38期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、「役員退職慰労引当金」に計上しておりました142,288千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(重要な後発事象)

(消費者庁による措置命令について)

当社の連結子会社であります株式会社プライムダイレクトは、2020年3月31日に、不当景品類及び不当表示防止法（景品表示法）第7条第1項の規定に基づく消費者庁の措置命令を受けました。

(1) 措置命令年月日

2020年3月31日

(2) 措置命令の概要

テレビショッピングで販売する「バタフライアブス」及びインターネットショッピングで販売する「バタフライアブス ディープテック」を身体の部位に使用すれば、電気刺激によって当該部位の筋肉が鍛えられることにより、本商品を使うだけで当該部位の痩身効果が得られるかのように示す表示をしており、この表示が実際のものよりも著しく優良であると示すものであることから、景品表示法に違反するとの措置命令であります。

(3) 当社業績への影響

当社連結業績への影響は、現時点では見積もりが困難であります。